

# 大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程 ボランティア活動部

## 高校生ボランティア・アワード 2022

### 被災地支援プロジェクト

本校においては、大阪府堺市の伝統地場産業である「打ち刃物」と「線香」を学ぶ「堺学」という授業を行っている。2011年3月11日に発生した「東日本大震災」以来、毎年「堺学」の授業で製作した「包丁」と「線香」及び「義援金」を被災地を訪問して、直接手渡している。また、被災地である岩手県釜石市のタブの木（線香の原料）を使い、被災地の高校との「コラボ線香」を作って支援をしたり、今までに寄贈した「包丁」の研ぎ直しのための訪問もしている。今年も、被災地を椿の花でいっぱいにする「レッドカーペット・プロジェクト」にも参加する。熊本地震・九州北部豪雨・北海道胆振東部地震・西日本豪雨の募金活動も行い、被災地を訪問し、支援活動を続けている。これまでに寄贈した「線香」は3000箱を超え、「包丁」は300丁を超える。



授業で作った被災地支援の「包丁」



授業で作った被災地支援の「線香」



宮城県農業高校とのコラボグッズ



「レッドカーペット・プロジェクト」



宮農より土砂災害を防ぐ「玉夢桜」贈呈



「岩手県立大船渡東高校」との交流



「バイオディーゼル発電機」



「バイオディーゼル発電機」に天ぷら油投入



電動マリオカートと電気自動車の充電

### 「エコプロジェクト」

自然災害が多発している昨今、地球温暖化防止のために環境のことを考え、私たちは「バイオディーゼル発電機」（不要な油を使って電気を作る）を製作した。この「発電機」があれば、家庭の天ぷら油や処分に困った油で電気が作れるので、停電の際に地域や被災地に役立ててもらえる。また、最近問題になっている「プラスチックゴミ」から油を作る「プラスチックゴミ油化装置」も製作した。その油を「バイオディーゼル発電機」に入ると電気が出る。すなわち、「プラスチックゴミ」から電気を作ることが出来る。スローガンは「捨てればゴミ、活かせば資源」



「電動マリオカート」試乗



1万人のキャンドルナイト



「プラスチックゴミ油化装置」



「プラスチックゴミ」投入



「プラスチックゴミ」から出来た油



プラスチックゴミから出来た油で充電



「太陽光発電」



集合写真

### 【プロフィール】

2011年3月11日に「東日本大震災」が発生し、9月に東北支援プロジェクト」を立ち上げた。ボランティア活動部及び「堺学」受講生徒を中心に活動を行い、岩手県・宮城県の被災地を訪問して、自分たちが作った「包丁」・「線香」・「義援金」を手渡している。近年は、寄贈した「包丁」の研ぎ直し訪問もしている。各地で自然災害が多発していることから、「東北支援プロジェクト」を「復興支援プロジェクト」とした。自然災害が多発している昨今、電気を一切使わず、不要な食用油を使って発電することが出来る「バイオディーゼル発電機」を製作した。また、「プラスチックゴミ」を有効活用することが出来る「プラスチック油化装置」も製作した。そして、これらの活動が認められ、「内閣総理大臣賞」・「環境大臣賞」を受賞した。



首相公邸にて安倍元総理から表彰



「内閣総理大臣賞」賞状



吉村大阪府知事も活動を絶賛



気候変動アクション「環境大臣表彰」



グッドライフアワード「環境大臣賞」



Esカル甲子園「議会議長賞」受賞

### 【啓発プロジェクト】

工科高校の「ものづくり」の技術を活かして社会を元気にする「啓発プロジェクト」を立ち上げ、様々な「啓発キャンペーン」を企画して、「啓発グッズ」の配布活動（コロナ禍なので手渡しではなく、2度触り禁止で各人が持ち帰る）をおこなった。伝統工芸士の方々の指導で地域の地場産業品である、「線香」、「蜻蛉玉ネックレス」、「蜻蛉玉香立て」、「マスクチャーム（マスクにつけるアクセサリー）」、「サシェ（匂い袋）」、「あまびえ木彫りストラップ」などの「啓発グッズ」を作った。また、看護師の方や「ドナルドハウス」の関係者と相談して、医療従事者の方や関係者の方々に感謝の気持ちを込めて「マスクチャーム」や「蜻蛉玉ネックレス」、「祈りのミサンガ」などの啓発グッズも作った。



Esカル甲子園「優秀賞」受賞



「さだまさし賞」

さだまさし賞  
大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程  
ボランティア活動部

大阪府立堺工科高等学校 定時制の課程ボランティア活動部  
被災地支援による環境保全プロジェクト

選考理由  
スローガン「捨てればゴミ、活かせば資源」に感銘。自己有用感をもてるための交流というコンセプトにも。



「コロナに負けるな！」



「さだまさし賞」